

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 月 日

1 事業名	コミュニティ事業（旧区長会運営事業）	コード	161201
-------	--------------------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 広報情報課	作成者 伊藤和彦
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	市民総参加のまちづくり
		予算科目	コミュニティ事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	市内21区及び樋沢地区の住民のために、各区等への育成・支援・施設整備・情報提供を行い地域コミュニティ活動の活性化を図る。	
目的	対象者	市内21区及び樋沢地区
	意図	地域コミュニティ活動の活性化

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> 区長会へ参加し、市と区長会の調整を図った。（区長会開催日 4月15日 6月18日 8月20日 10月10日 12月12日 2月7日 3月19日）庁内各課からの依頼事項を取りまとめ、区長会へ諮る段取りを行なった。 区の役員に就任した者に対し、4月に岡谷市事務嘱託員の委嘱を行なった。3月に事務嘱託員に報酬の支払い事務を行なった。 コミュニティ助成事業を補助申請し、自治総合センター及び長野県市町村振興会助成で採択となった7件（下浜区、西堀区、樋沢地区、新倉区、駒沢区、鮎沢区、横川区）の予算補正等の補助事務を行なった。 地域コミュニティ活動、市政遂行のため必要な連絡調整事務、行政機関が発行する文書等の配布事務等に関し、活動支援交付金を交付した。 区の主催行事をシルキーチャンネルなどで取り上げ、コミュニティ活動に対する大切さと理解の周知に努めた。 多くの区で役員改選があったため、区長などを対象としたオリエンテーションを開催し、市と区の円滑な業務遂行に努めた。 		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 区への加入率の向上のため、他部署とも連携を図り、転入、転居者へ「区への加入・説明希望連絡承諾票」を手渡し、地域コミュニティ活動への理解と加入を促した。 区とコミュニケーションを図り連携する中で、円滑な業務遂行に努めた。 	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）		
① 活動指標（指標名）	対象地区				単位	区等
	実績値	22	22	22		
	*指標の説明	各区21区、樋沢地区				
② 成果指標（指標名）	対象地区世帯数（区加入者）				単位	世帯
	目標値	19,452	19,410	19,385		
	実績値	16,735	16,593	16,585		
	達成度	86.0%	85.5%	85.6%		
	*指標の説明	各区への加入世帯数				
*目標値の設定方法の説明	H22国調に基づく全世帯数H26.3.1現在 実績値はH26.3.31現在					

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	55,192,411	49,109,058	67,779,434	55,566,000
経常経費	36,892,411	37,109,058	37,379,434	38,216,000
臨時的経費	18,300,000	12,000,000	30,400,000	17,350,000
* 臨時的経費の説明	コミュニティ助成事業補助金、地域活動助成事業補助金、公会所等建設事業補助金			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト(①+②)	60,792,411	54,709,058	73,379,434	61,166,000
前年度比		90.0%	134.1%	83.4%
財源内訳				
一般財源	42,489,411	42,706,658	48,173,734	46,965,000
特定財源	18,303,000	12,002,400	25,205,700	14,201,000
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,931,473	1,941,321	1,953,611	
前年度比		100.5%	100.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
公会所等建設事業補助金	件数	0	0	1	2
	金額	0	0	3,500,000	6,150,000
各区行政事務交付金	件数	22	22	22	22
	金額	26,660,100	26,859,000	26,981,500	27,526,000
コミュニティ助成事業助成金	件数	8	7	7	5
	金額	18,300,000	12,000,000	26,900,000	11,200,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	44,960,100	38,859,000	57,381,500	44,876,000
	割合	81.46%	79.13%	84.66%	80.76%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 100.0%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 85.6%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、人間関係の希薄化などにより、区への加入率は低下の傾向にあり、様々な分野で地域に貢献する地域コミュニティの構築に影響を及ぼし地域力の低下に繋がる。 ・地域コミュニティ活動を推進するための施設設備や設備の充実を図るため、コミュニティ助成を有効に利用してもらう必要がある。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・区の加入率向上は、地域コミュニティの充実にも繋がるため、区とも連携を図りながら、加入促進活動に対しても、加入促進チラシの配布やコミュニティ活動の理解を得てもらうよう啓発に努めるなど、積極的に関わる必要がある。 ・各区を訪問しコミュニティ活動に関する実情を把握すると共に、助成制度の利用を促すような働きかけを行う。 	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	---	--